

## はじめに

九州南端から鹿児島県南端の与論島まで連なる薩南諸島は、複雑な地史、暖温帯と亜熱帯の境界部にあり異なる温度環境を持つことなどから多くの固有種・希少種が存在し、その学問的・生物資源的な価値はきわめて高い地域です。特にアマミノクロウサギなどが生息する奄美群島には生物多様性が高い独自の生態系があり世界遺産候補地となっていますが、その研究はあまり進んでいません。また、世界自然遺産指定後観光資源として活用することを地元では期待しており、適切に管理して観光資源として活用していく指針が求められています。

鹿児島大学は平成 27 年 4 月に教員が常駐する国際島嶼教育研究センター奄美分室を、奄美市に提供していただいた建物に設け、地域に密着した研究・教育を開始しました。それとともに、この奄美分室を強化し世界遺産へ向けた教育研究を行なうために、平成 27 年度文部科学省特別経費（プロジェクト）「薩南諸島の生物多様性とその保全に関する教育拠点形成」を推進することにしました。

このプロジェクトは、世界自然遺産候補地の奄美群島及び周辺の薩南諸島を対象に、1) 生物多様性の保全に関する人材の育成と研究成果の発信、2) 生物多様性の成立機構の研究、3) 生態系の多様性維持機構の研究、4) 保全地域の管理運用・観光利用計画策定に関する研究を推進することを目的にしています。その運営には奄美市、そして鹿児島大学の各学部や学内共同利用施設など 40 数名の教員が参加しています。教育・研究の内容は主に 5 つの分野（陸上植物、陸上動物、人と自然、水圏、基礎）からなります。

平成 27 年度の具体的な活動として、各研究者が各自の研究を推進するとともに、一般市民を対象にした干潟（平成 27 年 9 月 26 日）や森林（平成 27 年 12 月 23 日）の観察会、奄美分室を利用した様々なテーマでの研究会などを開催しました。また、平成 27 年 5 月から平成 28 年 4 月には毎週一度「生物多様性と保全—奄美群島を例に—」というコラムを地元新聞紙面に全研究者が分担し執筆してきました。このコラムはまとめて、ブックレットとして平成 28 年に出版を予定しています。最後に、これらの活動を総括するために、平成 28 年 2 月 21 日に、地域の研究者と鹿児島大学の研究者が参加し、シンポジウム「生物多様性シンポジウム—奄美群島の生物多様性：その魅力を再発見—」を開催しました。

本プロジェクトは 6 年単位の大学中期計画との関係で平成 27 年度末に一旦終了しますが、平成 28 年度から 4 年間同様のプロジェクトを実施します。このように、今後も鹿児島大学は全学プロジェクトとして奄美群島を中心とした薩南諸島を対象に教育・研究、そして地域貢献を推進していきます。

本報告書は平成 27 年度文部科学省特別経費（プロジェクト）「薩南諸島の生物多様性とその保全に関する教育拠点形成」の活動報告書です。最後に、本事業を行うにあたりご協力いただいた、地域の住民の皆様、そして奄美市や奄美群島広域事務組合を中心とした薩南諸島における行政機関の皆様に感謝を申し上げます。

平成 28 年 3 月 9 日

プロジェクト代表

鈴木英治

河合 溪

【観察会】

奄美の生物多様性観察会

日時：平成 27年 9月 26日 9時30分～13時

場所：住用干潟



奄美の生物多様性観察会  
奄美の生物を親で感じてみよう

奄美自然観察会事務局  
奄美自然観察会事務局  
奄美自然観察会事務局

日時：平成27年9月26日 9時30分～13時  
場所：住用干潟

参加費：無料  
申し込み：不要  
申し込み先：奄美自然観察会事務局  
TEL: 0994-44-4852  
E-mail: amami@cap.kagoshima-u.ac.jp

【観察会】

初冬の奄美で森の木を見る会

日時：平成 27年 12月 23日 9時～12時30分

場所：奄美自然観察の森



初冬の奄美で森の木を見る会  
参加者募集

奄美自然観察会事務局  
奄美自然観察会事務局  
奄美自然観察会事務局

日時：平成27年12月23日 9時～12時30分  
場所：奄美自然観察の森

参加費：無料  
申し込み：不要  
申し込み先：奄美自然観察会事務局  
TEL: 0994-44-4852  
E-mail: amami@cap.kagoshima-u.ac.jp

## 【生物多様性シンポジウム】

## 奄美群島の生物多様性—その魅力を再発見—

日時：平成 28 年 2 月 21 日 13 時～17 時

場所：名瀬公民館金久分館 2F 研修室



生物多様性シンポジウム

奄美群島の生物多様性：  
その魅力を再発見

平成 28 年

2月21日(日) 名瀬公民館金久分館 2F 研修室  
入場無料

13:00~17:00 (12:30 受付開始)

## 開催の経

13:00-13:05 住吉 文夫 (鹿児島大学・理事)

## 講演

13:05-13:30 「湿潤岳の希少植物」 山下 弘 (植物写真家)

13:30-13:55 「オキナワウロジロガシ林の維持機構」 頼川 信 (鹿児島大学農学部・准教授)

13:55-14:20 「地域資源としての奄美の海洋生物」 興 克樹 (奄美海洋生物研究会・代表)

14:20-14:45 「奄美群島の藻類・海草類と生育環境」 寺田 竜太 (鹿児島大学水産学部・准教授)

14:45-14:55 休憩

14:55-15:20 「なぜオオトラツグミを守るのか：希少種と生物多様性の保全を考える」

水田 拓 (環境省奄美野生生物保護センター・自然保護専門員)

15:20-15:45 「人間とあまくろの交差点：野生動物の観光利用を考える」

鈴木 真理子 (鹿児島大学島嶼奄美分室・プロジェクト研究員)

## コメント 生物多様性と人間の関わり：先史時代と現代

15:45-15:55 高宮 広土 (鹿児島大学島嶼研・教授)

15:55-16:05 鈴木 祥之 (環境省奄美野生生物保護センター・上席自然保護官)

16:05-16:15 休憩

## パネルディスカッション

16:15-16:55 司会 藤井 琢磨 (鹿児島大学島嶼奄美分室・特任助教)

パネラー 上記講演者、森島 季雄 (鹿児島大学法文学部・教授)、大海 昌平 (奄美内陸研究会・代表)

\*近世から近代の先人達が奄美群島の生物多様性とどのように関わってきたか、現代の社会にも残るそのやり方も参考に、

今後の関わり方を探っていきます。

## 開会挨拶

16:55-17:00 鈴木英治 (鹿児島大学理学部・教授)

日時：平成 28 年 2 月 21 日 (日) 13:00~17:00 (12:30 受付開始)

会場：名瀬公民館金久分館 2F 研修室

主催：鹿児島大学国際島嶼教育研究センター奄美分室、鹿児島大学重点領域 (環境)

「薩南諸島の生物多様性と其の保全に関する教育研究拠点整備」プロジェクト

共催：環境省奄美野生生物保護センター

後援：奄美市、奄美群島広域事務組合

問い合わせ先：0997-69-4852 (鹿児島大学国際島嶼教育研究センター奄美分室)

\*終了後、参加して下さった皆さんと講演者、パネラーの皆さんとの交流タイムをもうけます。講演やパネルディスカッ

ションで質問しにくかったことをもと聞きたい、今後のために連絡先を交換したい、という皆さんはぜひお残りください。

\*名瀬公民館金久分館には駐車場がありますが、使用できる台数が限られています。できるだけ公共交通機関でのこ来場をお願いいたします (バス停「長兵入り口」下車すぐ)。



## 目次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ i

### 【陸上植物分野】

- 1) 陸上植物分野の研究成果概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1  
鈴木英治（鹿児島大学大学院理工学研究科）
- 2) 奄美群島の在来植物と外来植物の野外調査と遺伝的解析・・・・・・・・ 3  
宮本句子（鹿児島大学大学院理工学研究科）
- 3) 奄美大島における植生の多様性調査・・・・・・・・・・・・・・・・ 5  
鈴木英治・石貫泰三・米森由紀・永田ちはる・川原大基  
（鹿児島大学大学院理工学研究科）
- 4) 奄美大島住用川に成立する河畔植生の種組成的特徴・・・・・・・・ 7  
川西基博（鹿児島大学教育学系）
- 5) 徳之島の常緑広葉樹天然林における優占樹種の個体群動態・・・・・・・・ 11  
鶴川 信（鹿児島大学学術研究院農水産獣医学域農学系）
- 6) 鹿児島県の異なる気温条件の森林における落葉分解・・・・・・・・ 15  
相場慎一郎（鹿児島大学学術研究院理工学域理学系）
- 7) 南西諸島における熱帯産ヤマイモ (*Dioscorea* spp.) の形態および成分特性に関する研究（予報）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17  
遠城道雄（鹿児島大学農学部）
- 8) 奄美群島在来シクワサー (*Citrus depressa*) における葉緑体 DNA の多型・・・ 19  
山本雅史（鹿児島大学農学部）

### 【陸上動物分野】

- 9) 陸上動物分野の研究成果概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23  
坂巻祥孝（鹿児島大学農学部）
- 10) 奄美大島での人罔法によるブユ採集・・・・・・・・・・・・・・・・ 25  
大塚 靖（鹿児島大学国際島嶼教育研究センター）
- 11) 薩南諸島の陸産貝類の生物多様性に関する現況調査・・・・・・・・ 27  
富山清升（鹿児島大学大学院理工学研究科）

- 12) タイワンエンマコオロギの雄間闘争に対する血縁関係の影響・・・31  
栗和田 隆 (鹿児島大学教育学系)
- 13) 奄美群島のアリ類の調査および北琉球における放浪性アリ類の調査・・・33  
福元しげ子 (鹿児島大学総合研究博物館)
- 14) 林道の観光利用がアマミノクロウサギに与える影響評価・・・37  
鈴木真理子<sup>1</sup>・藤田志歩<sup>2</sup>・井上英治<sup>3</sup>・伊藤圭子<sup>4</sup>  
(<sup>1</sup> 鹿児島大学国際島嶼教育研究センター、<sup>2</sup> 鹿児島大学共同獣医学部、<sup>3</sup> 東邦  
大学理学部、<sup>4</sup> 奄美動物病院)
- 15) 徳之島および喜界島産ゴマダラカミキリ類における遺伝子汚染・・・41  
坂巻祥孝・三宅正隆・クアシ N'G ルシエン・津田勝男 (鹿児島大学農学部)
- 16) 喜界島における昆虫病原性糸状菌製剤によるゴマダラカミキリの生物的防除・・・43  
津田勝男・坂巻祥孝・三宅正隆 (鹿児島大学農学部)
- 【人と自然分野】**
- 17) 人と自然分野の研究成果概要・・・45  
桑原季雄 (鹿児島大学法文学部)
- 18) 世界自然遺産にともなう「遺産」概念の考察・・・47  
萩野 誠 (鹿児島大学法文学部)
- 19) 生物多様性保全と地域住民・・・49  
平井一臣 (鹿児島大学法文学部)
- 20) 奄美大島における生物多様性の保全に関する研究・・・51  
桑原季雄 (鹿児島大学法文学部)
- 21) 海運と海洋環境の保全・・・53  
松田忠大 (鹿児島大学法文学部)
- 22) 奄美群島文化の多様性の起源・・・55  
高宮広土 (鹿児島大学国際島嶼教育研究センター)
- 23) トカラ小宝島における考古学的分布調査・・・57  
渡辺芳郎 (鹿児島大学法文学部)
- 24) 奄美地域における遺跡発掘調査情報の共有化—『全国遺跡報告総覧』の活用—・59  
橋本達也 (鹿児島大学総合研究博物館)

- 25) 『琉球産物志』写本の書誌的調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・61  
高津 孝 (鹿児島大学法文学部)
- 26) 奄美の集落カーシマの空間配置と環境保護・・・・・・・・・・63  
西村 知 (鹿児島大学法文学部)
- 27) 環境保全・利用の民俗知—奄美大島南部の墓地利用に注目して—・・65  
兼城糸絵 (鹿児島大学法文学部)
- 28) 奄美における自然保護に対する住民意識とメディアの役割・・・・・・・・67  
宮下正昭 (鹿児島大学法文学部)
- 29) 記録映像から見る人と自然の関わり・・・・・・・・・・・・・・・・・・69  
中路武士 (鹿児島大学法文学部)
- 30) 文学に見る人と自然の関わり—環境の視点から見た島尾敏雄文学—・・71  
鵜戸 聡 (鹿児島大学法文学部)
- 31) 薩南諸島における人と唐辛子の関わり・・・・・・・・・・・・・・・・・・73  
山本宗立 (鹿児島大学国際島嶼教育研究センター)
- 【水圏分野】**
- 32) 水圏分野の研究成果概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・75  
山本智子 (鹿児島大学水産学部)
- 33) 鹿児島県薩南諸島の絶滅危惧藻類と海草・・・・・・・・・・・・・・77  
寺田竜太・渡邊裕基・中崎好希・瀬之口 開 (鹿児島大学水産学部)
- 34) 奄美大島嘉徳川の甲殻十脚類について・・・・・・・・・・・・・・81  
鈴木廣志<sup>1</sup>・岡野智和<sup>2</sup>・大元一樹<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>鹿児島大学水産学部、<sup>2</sup>鹿児島県立大島高等学校)
- 35) 奄美群島の陸—海境界領域に生息するゴカイ科多毛類・・・・・・・・・・83  
佐藤正典・坂口 建 (鹿児島大学大学院理工学研究科)
- 36) 薩南諸島におけるスナギンチャク目およびイソギンチャク目の種多様性・・87  
藤井琢磨 (鹿児島大学国際島嶼教育研究センター)
- 37) 奄美大島の魚類相調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・89  
吉田朋弘・畑 晴陵・小枝圭太・ジョン ビョル・本村浩之  
(鹿児島大学総合研究博物館)

- 38) 奄美群島周辺海域に分布する寄生動物相の調査報告・・・・・・・・・・91  
上野大輔（鹿児島大学大学院理工学研究科）
- 39) 加計呂麻島における干潟底生生物相の調査・・・・・・・・・・95  
山本智子・パリャ ロシリ・緒方沙帆・上野綾子（鹿児島大学水産学部）
- 40) 奄美大島住用干潟における貝類の生態・・・・・・・・・・97  
河合 溪（鹿児島大学国際島嶼教育研究センター）
- 41) リュウキュウアユの保全生態学的研究・・・・・・・・・・99  
久米 元（鹿児島大学水産学部）
- 42) 喜界島に自生する伝承薬用植物に含まれる二次代謝産物に関する研究・・・・・・・・101  
濱田季之<sup>1,2</sup>・仮屋崎 綾<sup>1</sup>・山下慧介<sup>1</sup>・大村谷威史<sup>1</sup>・日高輝一郎<sup>1</sup>・  
早崎真美<sup>2</sup>・山田卓弥<sup>2</sup>・佐々木 輔<sup>2</sup>・外山勇蔵<sup>2</sup>・原 史也<sup>2</sup>  
（<sup>1</sup>鹿児島大学大学院理工学研究科、<sup>2</sup>鹿児島大学理学部）
- 43) 魚類の味蕾の構造の多様性に関する組織化学的研究・・・・・・・・・・105  
池永隆徳・中村達史（鹿児島大学大学院理工学研究科）
- 【基礎分野】**
- 44) 基礎分野の研究成果概要・・・・・・・・・・109  
平 瑞樹（鹿児島大学農学部）
- 45) 薩南諸島産脊椎動物化石の展示・・・・・・・・・・111  
鹿野和彦・大塚裕之（鹿児島大学総合研究博物館）
- 46) 薩南諸島における地理空間情報データベースの構築・・・・・・・・・・113  
平 瑞樹・上西窪瑠歌（鹿児島大学農学部）
- 47) 南西諸島のサツマイモ在来品種の収集・・・・・・・・・・115  
田浦 悟・落合浩英（鹿児島大学自然科学教育研究支援センター）
- 48) 口之島野生化牛における遺伝的多様性・・・・・・・・・・117  
モー ルウィン<sup>1</sup>・河邊弘太郎<sup>2</sup>・岡本 新<sup>1</sup>・下桐 猛<sup>1</sup>  
（<sup>1</sup>鹿児島大学農学部、<sup>2</sup>鹿児島大学自然科学教育研究支援センター）

# Contents

Preface . . . . . i

## 【Terrestrial Plant Research Section】

- 1) Outline for Progress Reports of Terrestrial Plant Research Section . . . . . 1  
SUZUKI Eizi (Graduate School of Science and Engineering, Kagoshima University)
- 2) Field Survey and Genetic Analysis of Native and Alien Plants in the Amami Islands . . . . . 3  
MIYAMOTO Junko (Graduate School of Science and Engineering, Kagoshima University)
- 3) Survey of Vegetational Diversity in Amami-Oshima Island . . . . . 5  
SUZUKI Eizi, ISHINUKI Taizo, YONEMORI Yuki, NAGATA Chiharu and KAWAHARA Daiki  
(Graduate School of Science and Engineering, Kagoshima University)
- 4) Species Composition of Riparian Vegetation in Sumiyou River, Amami-Oshima Island . . . . . 7  
KAWANISHI Motohiro (Research Field in Education, Kagoshima University)
- 5) Population Dynamics of Dominant Tree Species in Natural Evergreen Broadleaved Forest in  
Tokunoshima Island . . . . . 11  
UGAWA Shin (Faculty of Agriculture, Kagoshima University)
- 6) Decomposition of Leaf Litter in Relation to Temperature across Diverse Forests in  
Kagoshima Prefecture . . . . . 15  
AIBA Shin-ichiro (Graduate School of Science and Engineering, Kagoshima University)
- 7) Studies on the Morphological and Ingredient Characteristic of Tropical Yams (*Dioscorea* spp.)  
in the Nansei Islands (Preliminary Report) . . . . . 17  
ONJO Michio (Faculty of Agriculture, Kagoshima University)
- 8) Polymorphisms of Chloroplast DNA in Shiikuwasha (*Citrus depressa*) Grown on  
the Amami Islands . . . . . 19  
YAMAMOTO Masashi (Faculty of Agriculture, Kagoshima University)

## 【Terrestrial Animal Research Section】

- 9) Outline for Progress Reports of Terrestrial Animal Research Section . . . . . 23  
SAKAMAKI Yosataka (Faculty of Agriculture, Kagoshima University)
- 10) Black Flies Collected by Human Bait Trap in Amami-Oshima Island . . . . . 25  
OTSUKA Yasushi (Research Center for the Pacific Islands, Kagoshima University)

- 11) Habitation Present Situation Investigation about the Biological Diversity of Land Mollusca in the Satsunan Islands . . . . . 27  
TOMIYAMA Kiyonori (Graduate School of Science and Engineering, Kagoshima University)
- 12) The Effect of Relativeness on Male-Male Contest Competition of the Field Cricket *Teleogryllus occipitalis* . . . . . 31  
KURIWADA Takashi (Faculty of Education, Kagoshima University)
- 13) Surveys of the Ant Fauna of the Amami Islands and of Tramp Ants in the Northern Ryukyus . . . 33  
FUKUMOTO Shigeo (The Kagoshima University Museum)
- 14) Effects of Tourism on the Physiological Stress Levels and Behavior in Amami Rabbit . . . 37  
SUZUKI Mariko<sup>1</sup>, FUJITA Shio<sup>2</sup>, INOUE Eiji<sup>3</sup> and ITO Keiko<sup>4</sup>  
(<sup>1</sup>Research Center for the Pacific Islands, Kagoshima University, <sup>2</sup>Joint Faculty of Veterinary Medicine, Kagoshima University, <sup>3</sup>Faculty of Science, Toho University, <sup>4</sup>Amami Animal Hospital)
- 15) Genetic Contamination of Citrus Long Horned Beetles in Tokunoshima and Kikajima Islands . . . . . 41  
SAKAMAKI Yositaka, MIYAKE Masataka, KOUASSI N'G Lucien and TSUDA Katsuo  
(Faculty of Agriculture, Kagoshima University)
- 16) Biological Control of the Asian Longhorn Beetle, *Anoplophora* spp. by Entomogenous Fungus, *Beauveria brongniartii* in Kikajima Island . . . . . 43  
TSUDA Katsuo, SAKAMAKI Yositaka and MIYAKE Masataka  
(Faculty of Agriculture, Kagoshima University)
- 【Human and Nature Section】**
- 17) Outline for Progress Reports of Human and Nature Section . . . . . 45  
KUWAHARA Sueo (Faculty of Law, Economics and Humanities, Kagoshima University)
- 18) The Concept of 'Heritage' on World Natural Heritage . . . . . 47  
HAGINO Makoto (Faculty of Law, Economics and Humanities, Kagoshima University)
- 19) The Preservation of Biodiversity and Local Residents . . . . . 49  
HIRAI Kazuomi (Faculty of Law, Economics and Humanities, Kagoshima University)
- 20) A Study on the Preservation of Biodiversity in Amami-Oshima Island . . . . . 51  
KUWAHARA Sueo (Faculty of Law, Economics and Humanities, Kagoshima University)

- 21) Marine Transportation and the Preservation of Maritime Environment . . . . . 53  
MATSUDA Tadahiro (Faculty of Law, Economics and Humanities, Kagoshima University)
- 22) The Foundations of the Cultural Diversity: The Beginning of Agriculture in the  
Central Ryukyus . . . . . 55  
TAKAMIYA Hiroto (Research Center for the Pacific Islands, Kagoshima University)
- 23) Archaeological Survey of Kodakarajima Island in the Tokara Islands . . . . . 57  
WATANABE Yoshiro (Faculty of Law, Economics and Humanities, Kagoshima University)
- 24) Communalization of Information on Archaeological Excavations in the Amami Area: Practical  
Use of “Comprehensive Database of Archaeological Site Reports in Japan” . . . . . 59  
HASHIMOTO Tatsuya (The Kagoshima University Museum)
- 25) Bibliography of *Ryukyu Sanbutsushi* Manuscripts . . . . . 61  
TAKATSU Takashi (Faculty of Law, Economics and Humanities, Kagoshima University)
- 26) Power of ‘*Shima*’ Community in *Amami*: Spatial Arrangement and Environmental  
Conservation . . . . . 63  
NISHIMURA Satoru (Faculty of Law, Economics and Humanities, Kagoshima University)
- 27) A Study of Local Knowledge on the Utilization of Natural Environment in Amami-Oshima  
Island . . . . . 65  
KANESHIRO Itoe (Faculty of Law, Economics and Humanities, Kagoshima University)
- 28) The Residents Awareness of Nature Protection and the Role of Mass Media in Amami . . . 67  
MIYASHITA Masaaki (Faculty of Law, Economics and Humanities, Kagoshima University)
- 29) The Human and Nature Relationship in Documentary Films . . . . . 69  
NAKAJI Takeshi (Faculty of Law, Economics and Humanities, Kagoshima University)
- 30) The Human and Nature Relationship in Literature: An Ecological Reading of Toshio Shimao . 71  
UDO Satoshi (Faculty of Law, Economics and Humanities, Kagoshima University)
- 31) Relationship between People and Chili Peppers in the Satsunan Islands . . . . . 73  
YAMAMOTO Sota (Research Center for the Pacific Islands, Kagoshima University)
- 【Aquatic Research Section】**
- 32) Outline for Progress Reports of Aquatic Research Section . . . . . 75  
YAMAMOTO Tomoko (Faculty of Fisheries, Kagoshima University)

- 33) Endangered Algae and Seagrass in the Satsunan Islands, Kagoshima Prefecture . . . . . 77  
TERADA Ryuta, WATANABE Yuki, NAKAZAKI Yoshiki and SENOKUCHI Satoru  
(Faculty of Fisheries, Kagoshima University)
- 34) On Crustacean Decapods in the River Katoku of Amami-Oshima Island . . . . . 81  
SUZUKI Hiroshi<sup>1</sup>, OKANO Tomokazu<sup>2</sup> and OOMOTO Kazuki<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>Faculty of Fisheries, Kagoshima University, <sup>2</sup>Prefectural Ohshima High School,  
Amami-Oshima)
- 35) Nereidid Polychaetes Inhabiting the Land-Sea Interface in the Amami Islands . . . . . 83  
SATO Masanori and SAKAGUCHI Takeru  
(Graduate School of Science and Technology, Kagoshima University)
- 36) Preliminary Report of Diversity of Order Zoantharia and Actinaria in the Satsunan Islands,  
Kagoshima . . . . . 87  
FUJII Takuma (Research Center for the Pacific Islands, Kagoshima University)
- 37) Ichthyofaunal Survey in Amami-Oshima Island . . . . . 89  
YOSHIDA Tomohiro, HATA Harutaka, KOEDA Keita, JEONG Byeol and MOTOMURA  
Hiroyuki (The Kagoshima University Museum)
- 38) A Report of Faunal Survey on Parasites of Marine Animals in the Amami Islands . . . . . 91  
UYENO Daisuke (Graduate School of Science and Technology, Kagoshima University)
- 39) Survey on Benthic Fauna in Mud-Flats of Kakeromajima Island . . . . . 95  
YAMAMOTO Tomoko, PALLA Rocille, OGATA Shiho and UENO Ryoko  
(Faculty of Fisheries, Kagoshima University)
- 40) Ecology of Bivalve in Sumiyou Tidal Flat in Amami-Oshima Island . . . . . 97  
KAWAI Kei (Research Center for the Pacific Islands, Kagoshima University)
- 41) Conservation Studies of Ryukyu-Ayu *Plecoglossus altivelis ryukyuensis* . . . . . 99  
KUME Gen (Faculty of Fisheries, Kagoshima University)
- 42) Study on Secondary Metabolites in Traditional Medicinal Plants in Kikajima Island . . . . 101  
HAMADA Toshiyuki<sup>1,2</sup>, KARIYAZAKI Aya<sup>1</sup>, YAMASHITA Keisuke<sup>1</sup>, OOMURAYA Takeshi<sup>1</sup>,  
HIDAKA Kouichiro<sup>1</sup>, HAYASAKI Mami<sup>2</sup>, YAMADA Takuya<sup>2</sup>, SASAKI Tasuku<sup>2</sup>, TOYAMA  
Yuzou<sup>2</sup> and HARA Fumiya<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>Graduate School of Science and Engineering, Kagoshima University, <sup>2</sup>Faculty of  
Science, Kagoshima University)

- 43) Histochemical Analysis of the Taste Bud Structure in Fish . . . . . 105  
 IKENAGA Takanori and NAKAMURA Tatsufumi  
 (Graduate School of Science and Engineering, Kagoshima University)

**【Geospatial and Genetic Information Section】**

- 44) Outline for Progress Reports of Geospatial and Genetic Information Section . . . . . 109  
 HIRA Mizuki (Faculty of Agriculture, Kagoshima University)
- 45) Exhibition of the Vertebrate Fossils in the Satsunan Islands . . . . . 111  
 KANO Kazuhiko and OTSUKA Hiroyuki (The Kagoshima University Museum)
- 46) Data Base for Spatial Information on Biodiversity and Its Conservation in the Satsunan  
 Islands . . . . . 113  
 HIRA Mizuki and KAMINISHIKUBO Ruka (Faculty of Agriculture, Kagoshima University)
- 47) Collection of Local Variety in Sweet Potato (*Ipomoea batatas*) from the Nansei Islands . . . 115  
 TAURA Satoru and OCHIAI Hirohide  
 (Natural Science Center for Research and Education, Kagoshima University)
- 48) Genetic Variability of Kuchinoshima Feral Cattle . . . . . 117  
 MOE LWIN<sup>1</sup>, KAWABE Kotaro<sup>2</sup>, OKAMOTO Shin<sup>1</sup> and SHIMOGIRI Takeshi<sup>1</sup>  
 (<sup>1</sup>Faculty of Agriculture, Kagoshima University, <sup>2</sup>Natural Science Center for Research  
 and Education, Kagoshima University)